



平成22年11月(第150号)

今月の写真：浅草岳田子倉登山口のすすき(只見町)

今年の秋は例年にも増して足早に過ぎていこうとしています。只見の民宿に宿泊する方は、定年退職後の登山客も多いそうです。「身近で当然にあるもの」と思うものが他の地方の方から見ると貴重なもの、すばらしいものになる一例でしょうか。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ちゃれんじ農園、奮闘中！
 - ・森林と林業の魅力！大満喫！
 - ・ヤギ放牧でサル害対策！！
 - ・今年も「会津のかおり」が大好評！！
(第二回南会津新そばまつり開催！)
 - ・農業普及指導活動の推進に向け、
現地検討会を開催！
 - ・いわきの皆さん来てげやれ～
平成22年度南会津観光物産展
- 今月のコラム
 - ・腕
- お知らせ
 - ・『米価下落等に伴う相談窓口』を設置しました！

平成22年11月26日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

ちゃれんじ農園、奮闘中！

南 会津農林事務所では、南会津保健福祉事務所と連携し、管内3つの保育所で食育の一環として「ちゃれんじ農園」サポート事業を展開しています。

今回は、その中から「収穫の秋」に関連していくつかの行事を紹介します。



大豆をゲット！(田部原保育所)

(南会津町立田部原保育所)

10月20日に、田部原保育所で野菜や大豆の収穫が行われました。

児童たちが春に植えたダイコンやニンジン、大豆をみんなで収穫し、11月9日には、収穫した大豆を使って豆腐づくり体験が行われました。

(下郷町立しもごう保育所)

10月14日に、しもごう保育所でバケツ稲の稲刈りが行われました。

春に植えた苗は、猛暑だった夏を乗り越えて黄金色の穂を実らせました。

残念ながらスズメに食べられてしまったものも多かったようですが、収穫された米を使って郷土料理の「しんごろう」作りを11月4日に行いました。



力をこめて収穫だ！(しもごう保育所)

(只見町立只見保育所)

10月29日に、只見保育所で豆腐づくり体験が行われました。

児童たちが収穫した大豆をすり潰し、煮て、にがりを加えたとおぼろ豆腐が完成しました。

児童たちは自分たちで作った豆腐を美味しくそれに頬張っていました。



どんな味かな？(只見保育所)

(企画部・農業振興普及部)

森林と林業の魅力！大満喫！



喜びの受賞者

第35回福島県林業祭が10月23日から10月24日にかけて「森林と林業の魅力／大満喫！」をテーマに、郡山市の林業研究センターで開催されました。

県林業祭は、森林・林業の重要性と本県林業の姿を広く理解していただき、緑豊かな県土と活力ある森林・林業・木材産業づくりを進めることを目的に毎年開催されています。

また、初日の23日には、福島県林業コンクール等表彰式も行われました。当管内では、林業技術の向上と林業生産の改善により、本県林業の発展に寄与したということで、林業コンクール（枝打技術部門）で、下郷町の渡部善一さんが、緑化活動を学校教育の中に計画的に取り入れた活動が積極的に実施されていたということで、学校環境緑化の部で、檜枝岐小学校がそれぞれ県知事賞を授与され、檜枝岐小学校は、併せて福島民友社長賞も受賞しました。

今年は、2日間とも好天に恵まれ、約4,700名の来場者があり、林業研究センター公開、林業作業体験コーナー、木工工作・木材利用コーナー、チェーンソーアートショーなど多彩な催しの中で、来場者が楽しんでいました。

(森林林業部)



多彩な催し

ヤギ放牧でサル害対策！！



ヤギ放牧でサルによるリンゴ食害が減少

去る10月20日、鳥獣害防止に携わる地域住民・関係機関等関係者の知識・技能向上を目的として、「南会津地方鳥獣害防止現地研修会」を南会津農林事務所主催で開催しました。

研修会では、農業者等26名が地域で実施されている取組事例を現地視察し、効果的な鳥獣害対策について総合的に検討しました。

- ①リンゴ園のサル害対策としてのヤギ放牧効果（下郷町音金）
- ②ノバラのシカ害対策としてネットの設置効果（南会津町中荒井）
- ③集落で取り組むサル害対策として追払花火・電気牧柵等の効果（南会津町藤生）

以上の3点について現地検討した後、福島県農業総合センターの大槻主任研究員を座長として総合検討を行いました。

参加者からは、現場を見て大変勉強になったとの声が聞かれました。

鳥獣による農作物の被害は、南会津地方においても農業生産活動の重大な阻害要因となり、農業者の生産意欲の減退や耕作放棄など地域に大きな影響を与えています。

鳥獣被害を放置しておく、鳥獣にとって絶好のエサ場となり、住み着いてしまいます。

鳥獣害対策の基本は、被害の発生初期に迅速に対策を行うことです。被害がひどくなってからでは、鳥獣もそこに強く執着していることから、頑丈な柵や継続的な管理などが必要になり、よりお金や手間がかかります。

また、設置した柵等が破られたからと止めてしまうのではなく、破られた原因を見つけ、そこを改良しながら継続することが重要です。

このことが、鳥獣にその場所は侵入が困難でメリットが少ない場所であることを認識させ、諦めさせることになります。

鳥獣害対策は、地域みんなで、できることからやりましょう。（農業振興普及部）

今年も「会津のかおり」が大好評!! (第二回南会津新そばまつり開催!)

南 会津そば振興協議会主催の「第二回南会津新そばまつり」が10月10日～11日に南会津町の御蔵入交流館で開かれました。今年は、御蔵入そばの会(田島)、大川そば愛好会(下郷)、友遊クラブ(南郷)、たていわ裁ちそばの会(館岩)、多々石そば道場(伊南)のそば愛好会5店舗の出店となりました。

また、南会津農林事務所でもブースを設置し「会津のかおり」のPR、アンケート調査等を行いました。



会場は大勢の人で賑わいました

各店舗とも、南会津産の「会津のかおり」の新そばを共通に使いながら、そばの挽き方、打ち方、ツユ(ダシ)では、それぞれのこだわりの技を随所にみせた、おいしいそばに仕上げていました。

そば店舗の前に県内外から多くのファンが訪れ、長い行列を作っていました。

来場者からは「とても香り高く美味しい」「各店舗のいろいろな味を楽しめて良かった」「来年も来たい」等の高い評価を受けました。多くの方が2杯、3杯と食を進め、最終的に前年を超える5300食を売り上げる大盛況となりました。

また、地場産品を販売する「南会津地場産品楽市」も同時開催され、地元産の野菜、地酒、赤カブ等の加工品やキノコ等が販売されました。売り切れも続出するなど、大好評でした。

地元や県内外から多くのファンが詰めかけ、大好評に終わったそばまつり。来場者の皆さんに満足して頂けたようです。協議会では、地元の生産者とそば販売店等の結びつきをさらに強め、そば処南会津を県内外に知ってもらおうと意気込んでいます。(農業振興普及部)

農業普及指導活動の推進に向け、 現地検討会を開催!

南 会津地域農業普及推進懇談会並びに農業普及推進活動外部評価懇談会を9月16日に、開催しました。これは、当農業振興普及部の普及指導員が行う農業普及指導活動に対し、農業普及推進懇談会のメンバーである町村、関係団体の代表、農業者、さらに南会津農林事務所が委嘱して

いる外部評価懇談会委員から助言等をいただき、業務を効果的かつ効率的に展開することを目的としています。

当日は南会津町南郷地区及び只見町を会場として17名が参加し、

- ①集落営農の担い手組織である「和泉田グリーンカルチャー」
- ②個別経営の拡大により地域農業を支えている「有限会社さんべ農園」
- ③本年度県農業賞(新規就農部門)を受賞した「高木正貴氏・純子氏」

の農業経営について視察を行い、地域農業を支える担い手の育成と新規就農者の育成確保に向けた課題について現地で検討を行いました。



トマト畑で新規就農者育成を現地検討

年度末には、2回目の懇談会を開催し、本年度の活動成果と次年度の活動計画について、検討いただく予定です。(農業振興普及部)

いわきの皆さん来てけやれ～ 平成22年度南会津観光物産展

今年も待ちに待った「南会津観光物産展」が

10月30日(土)、31日(日)の2日間に渡り、いわき市小名浜「小名浜さんかく倉庫」で行われました。参加した各団体か



米100粒を当てるのは、なかなか難しい!

らは、そばや日本酒等様々な地域特産品が出品され、来場者から「美味しい美味しい」と好評を得たほか、南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議では、「各種グリーン・ツーリズム情報の発信」や「木工クラフト体験」、「米100粒当てゲーム」、「南会津の新米試食」等を行いました。当会議では、今後とも管内外へ向けて当地方のグリーン・ツーリズムの取り組み等についてPRを行い、都市部との交流を通じた地域活性化を目指して皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております!

(企画部)

「腕」

先 般、長女が結婚した。バージンロードを娘と腕を組んで歩いたとき、娘の腕の暖かさと柔らかさが、妻の若い頃の腕と、あまりにそっくりで、一瞬戸惑った。

結婚式騒ぎが落ち着いた一昨日、今度は、地元の祭りに元気な先輩達と参加し、楽しい時間を過ごした。田島祇園祭りとは比較にならない県北地方の小さな田舎の祭りである。新興住宅街のため、若いお父さん、お母さんの祭りへの参加が少なくなってきており、運営する「若連」を悩ませている。祭りの最中、若い父親から「仕事や子育てで大変だ。祭りに出るのも大変だ。」との話も出た。これに対し、先輩は「親が面倒くさいと思って、いやいやことに当たると、子供も同じく何でも面倒くさいと考えるようになる。子供のためにも祭りやほかの地域行事に参加して楽しんで欲しい。会社には同じ価値観を持つ者が多い、しかし、地域の人々の価値観は多様である。このような人々と交流し、見識を深めることが親として大切である」と地域の人々と絆を深める必要性を諄々と説いた。

育成会OBであり教師でもある先輩の含蓄ある言葉であった。思えば、私も長女を含め、結婚を目前とした若いカップルに同様な話をした記憶がある。

さて、本県では、農商工連携を進め地域の活性化を図ろうとしている。この施策は正しいと確信しているが、「東京で有名な〇〇とのコラボ」などと、単純な中央との連携による「地元資本力の強化」のみとなることを避けたい。あくまで地方の人々を核としたウエットな農商工連携、言い換えれば「人づくり」の推進でありたいと思っている。そのためにも、我々「人づくり」を目的とする農業改良普及事業に携わる者としては、常に心のどこかに、我が娘の腕のような「暖かさ」と「柔らかさ」を持っていないといけないと思っている。最後に親として、長女達には1日も早く子をその腕に抱き、幸多かれと祈り、単身赴任の秋の夜の筆を置く。

農業振興普及部 副部長 渡邊 史夫

農林事務所からお知らせ

『米価下落等に伴う相談窓口』を設置しました！

農 業振興普及部に、相談窓口を開設いたしました。営農やそれに伴う金融支援に関するご相談など、随時受け付けておりますので、以下にお問い合わせください。

受付時間 平日 8:30~17:15 (土・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

なお、FAX・メールについては、受付時間外でもお送りいただけます。 (農業振興普及部)

●農業振興普及部

【電話】0241-62-5253
 【FAX】0241-62-5256
 【E-mail】shinkouhukyuu.af05@pref.fukushima.jp
 【住所】南会津町田島字根小屋甲4277番地の1
 [福島県南会津合同庁舎 4階]

●南郷普及所

【電話】0241-72-2243・2942
 【FAX】0241-72-2452
 【E-mail】nangou.af05@pref.fukushima.jp
 【住所】南会津町山口字村上842番地

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

検索

バックナンバーはこちら

みんなが主役。「絆」がつくる



“ごちそう ふくしま”

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。